

結核ってなあに？

結核は、結核菌による慢性感染症で、主に肺に炎症を起こします。
空気感染で感染し、症状は風邪のようなもの（咳、痰、発熱）が続くのが特徴で、世界では年間100万人以上の方が亡くなられています。

人から人にうつるけど、
結核は治る病気！
しっかり意識と関心を高めて
世界にノウハウを
広めていくことが大事だよ



Japan

約4割以上が80歳以上の高齢者

80歳以上の多くの方々が、かつて日本で結核が“国民病”として蔓延した時代に感染しており、高齢となってから免疫力の低下や加齢に伴うさまざまな健康問題によって発病するケースが多数を占めています。

20代では 外国生まれの患者が8割

留学・就業で結核罹患率が高い途上国から多くの若年層が入国しています。

World

世界でも結核は重要課題。 総人口の約4分の1が感染

特にアジア、アフリカの国々は保健医療・結核対策の整備の遅れや貧困の問題を抱え、適切な治療を受けることが難しく、深刻な問題となっています。

ごあいさつ

「結核」って、過去の病気だと思っていませんか？ 実は今も、日本では毎年1万人近くが結核にかかっています。外国にルーツを持つ若者や、高齢の方の間で増えており、命にかかわることもあります。世界では、たった1年で約1,080万人が発病し、125万人が命を落としています。今でも、結核は世界で最も多くの命を奪っている感染症のひとつです。結核予防会は、検診のサポートや正しい情報の発信、世界の支援などを行っています。その活動を支えているのが、みなさんからの「複十字シール募金」です。「自分にできること」を、今、ひとつ。あなたの協力が、誰かの命を救います。どうぞ、温かいご支援をお願いいたします。



公益財団法人結核予防会
理事長 尾身 茂

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた1939年に設立された公益法人。設立以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

運動のはじまりと複十字シール

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使用した募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初の複十字シールを発行しました。募金をいただいた方に差し上げる同シールには、健康を願うメッセージが込められています。シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

複十字章 **卩** は世界共通の結核予防運動のシンボルです

お問い合わせ

複十字シール募金は、下記にて受け付けています。
どうぞお気軽にご相談ください。

公益財団法人 栃木県保健衛生事業団
(結核予防会 栃木県支部)

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森3F

TEL **028-623-8181**



<https://tochigi-health.or.jp>

結核のない世界を目指して Towards a TB-free world!



複十字シール運動

8/1_金-12/31_水

複十字シール運動は、
結核のない世界をつくる運動です。
その実現のために
募金活動と普及啓発活動
を行っています。

(募金は随時受け付けています)

複十字シールには、
健康を願うメッセージが
込められています!



【主催】公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

【後援】厚生労働省／文部科学省／
公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

結核のない世界をめざして！

Towards a ^{Tuberculosis} TB-free world!

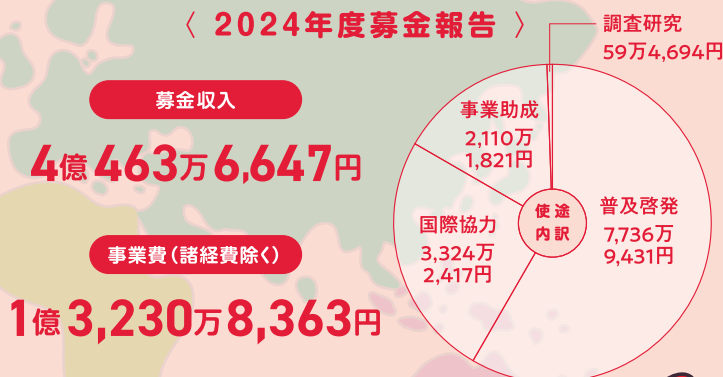
「複十字シール運動」とは

「複十字シール運動」は、結核のない世界をつくることを目的に1952年に始まりました。結核予防会および全国の協力団体が窓口となり、「複十字シール募金」を行うとともに、結核への理解を深め、予防の大切さを伝えるための活動を推進しています。募金は、主に結核・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの病気予防の普及啓発、結核予防団体の支援・調査研究、国際協力などに役立てられています。

「複十字シール運動」とは、
結核のない世界をつくるための運動
だったんだね！

結核の正しい知識が、
結核予防の第一歩につながるのです！

〈2024年度募金報告〉



税の優遇措置

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

表彰制度

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただいた方に、結核予防会の規程により、結核予防会総裁名の感謝状の贈呈がごさいます。



複十字シールには、健康を願うメッセージが込められています

2025年度の複十字シールは、日本の昔話をシールに描きました。想像力をかきたてる面白さや、悪い行いが必ず報いを受けるという教訓と共に、他者を愛する心の大切さも教えてくれます。

日本での活動



結核を発病する人 ▶ 約10,096人

結核で失われる命 ▶ 約1,587人

(2023年)

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、普及啓発に重点を置いた活動を展開しています。



結核・呼吸器感染症
予防週間ポスター



123
全国の協力団体を通じた
啓発キャンペーン

世界での活動



結核を発病する人 ▶ 約1,080万人

結核で失われる命 ▶ 約125万人

(2023年)

国内で積み重ねてきた技術・知識・経験を活かし、世界の人々を結核から守るために国際協力に取り組んでいます。

●募金による主な活動地域はアフリカ(ザンビア)、アジア(カンボジア、ネパール、ミャンマー)



① ボランティアによる結核啓発活動



② 結核検診の様子



③ 医療従事者への技術指導